

2017 年 6 月 20 日

ルネサス エレクトロニクス株式会社の株式売却について

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、ルネサス エレクトロニクス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長兼 CEO 呉文精、東証第一部 証券コード：6723、以下「ルネサス エレクトロニクス」）の株式売出しにおいて、当社が保有するルネサス エレクトロニクス株式 317,688,800 株を売却したことをお知らせいたします。

参考）INCJ は 2012 年 12 月 10 日に「ルネサス エレクトロニクス株式会社への共同出資を決定」を公表しています。

URL：<http://www.incj.co.jp/PDF/1417688372.01.pdf>

ルネサス エレクトロニクス株式会社について

ルネサス エレクトロニクスは、NEC エレクトロニクス株式会社と株式会社ルネサス テクノロジーの事業統合により 2010 年 4 月に発足した半導体サプライヤーです。自動車、産業などの分野に対して、世界トップシェアのマイコンに加え、アナログ&パワーデバイス、SoC などの各種半導体と幅広いソリューションをグローバルに提供しています。人々が安心・安全に暮らせる社会を実現するために、半導体ソリューションの提供を通じて、あらゆるモノとモノをつないでインテリジェント化し、組み込み機器の進化に貢献しています。ルネサス エレクトロニクスは日本（東京都江東区）に本社を置き、約 20,000 人の従業員を有しています。

詳細は、<https://www.renesas.com> をご覧ください。

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 2 1 階
電 話：03-5218-7202 URL：<http://www.incj.co.jp/>

[別紙]

1. 対象事業会社

ルネサスエレクトロニクス株式会社

- ・設 立 : 2002 年 11 月 (営業開始日 2010 年 4 月)
- ・代表者 : 呉 文精
- ・所在地 : 東京都江東区
- ・事業内容 : 各種半導体に関する研究、開発、設計、製造、販売およびサービス

2. 支援決定概要

- ・支援決定金額: 1500 億円(上限)

* 将来更なる成長資金が必要となった場合は、追加で 500 億円を上限として出資又は融資を行う用意

- ・実投資額: 1383.5 億円

- ・投資実行時の共同投資家/コンソーシアム:

トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、株式会社ケーヒン、株式会社デンソー、
キヤノン株式会社、株式会社ニコン、パナソニック株式会社、株式会社安川電機

- ・株式保有割合: 69.2% (投資実行時)

- ・支援決定公表日: 2012 年 12 月

<https://www.incj.co.jp/news/upload/docs/1417688372.01.pdf>

- ・投資ストラクチャー図:

<https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1430983409.02.pdf>

3. 経緯

(1) 出資の経緯

ルネサスエレクトロニクスの製品の中核をなすマイコン製品は、我が国の産業を足元から広範に支えるものであり、特に車載用マイコン製品は、自動車産業との協同により集積された高度な技術とノウハウが高く評価され、グローバルトップシェアを堅持していました。一方、ルネサスエレクトロニクスは、同時に、変化の激しい半導体業界を生き抜くための強じんな収益構造の構築が求められていました。

2012 年 12 月、INCJ とコンソーシアム 8 社は、ルネサスエレクトロニクスの構造改革、成長投資の推進を目的として総額 1500 億円の出資を決定しました。INCJ は、ルネサスエレクトロニクスが、その事業を安定的に運営し、将来にわたって優れた製品を供給し続けることが、半導体業界のみならず関連業界全体における新事業や新製品の創造に寄与するものと判断し、翌 2013 年 9 月に 1383.5 億円の投資を実行しました。

(2) 事業の進捗

その後、ルネサスエレクトロニクスは、生産・事業・人員施策を含む構造改革の着実な実行により、確実に利益を出せる体質に変革を遂げました。

(3)Exit の経緯・内容

INCJ は、2012 年 12 月の投資発表以降、ルネサスエレクトロニクスの構造改革の大部分が完了し、更なる成長段階に入ったこと、また、同社の資金調達手段の多様化のためには、株式流動性を出るだけ早く向上させる必要があると判断し、2017 年 6 月に保有するルネサスエレクトロニクスの株式 317,688,800 株を売却したことを公表しました。

今回の株式売却によって、INCJ のルネサスエレクトロニクスの保有株式の比率は、69.2%から 50.1%となりました。

4. 主務大臣(経済産業大臣)の意見

引き続き保有する株式の譲渡その他の処分においても、我が国半導体産業全体のあるべき姿を念頭に、処分方法を検討し、また、経済産業省との緊密な連携を継続されたい。